

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6年 8月 31日

北上市議会議長 様

北上市議会（会派）日本共産党北上市議団
議 員 安徳 壽美子

私（会派）が参加した次の 視察 ・ ○研修 について次のとおり報告します。

期間（期日）	令和6年 8月 6日（ 火 ）のみ参加
視察先 視察内容 または ○研修事項 参加者	第53回 議員の学校 （オンラインでの参加） 講義 「市町村の高齢者政策はどうあるべきか」 講師 石川 満 氏 元日本福祉大学教授 参加者 安徳壽美子、高橋久美子

[報 告]

認知症や孤独死、貧困化など高齢者をとりまく問題が大きくなる一方、社会保障給付費の抑制が進められている。

市町村はどのように高齢者の「権利」を守り、「地域」づくりをすべきかを考える。

「講義の内容」

- 高齢者の幸福追求権は憲法上どうあるべきか
- 老人福祉法の再確認
- 高齢者の生活実態の把握
- 高齢者支援のニーズ把握

憲法13条 【個人の尊重】

すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。講師は、高齢者一人ひとりの幸福追求権に対し疑問を提起した。

憲法25条 【国民の生存権、国の社会保障的義務】

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

② 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。講師は、すべての高齢者を個人としてみることが軽んじられていると指摘する。

老人福祉法の基本理念「老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保証されるものとする」という考え方は、高齢者施策をすすめる基本とすべきである。同法4条は「老人福祉の増進する責務」を定め福祉行政充実 に尽力する国、地方公共団体の責務を明確にしている。同法5条の4は「福祉措置の実施者」は、一老人の福祉に関し、必要な実情の把握に努めること。二老人の福祉に関し、必要な情報の提供を行い、並びに相談に応じ、必要な調査及び指導を行い、並びにこれらに付随する業務を行うこと。同法6条「市町村の福祉事務所の社会福祉主事」は

老人福祉に関し実情の把握に努めること。を示し、国民年金受給額は、ほとんどの人が月額5万円ほどであり、2021年貧困率は、子ども11.5%、大人一人44.5 %全世帯15.4 %

である。高齢者の低所得者に対する所得保障の必要性を明らかにした。

高齢者虐待に対して、市町村の責務として、誰が対応するのか明らかになっているか？立ち入り調査は、市町村職員の役割である。と述べている。

自治体の取り組みの事例としては、○生活支援ハウス（神奈川県）・（長野県泰阜村）住宅への補助金 ○認知症の早期発見 セルフチェック、75歳以上は検診項目に入れる。などが紹介された。

【所感】 安徳壽美子

一人暮らしの高齢者世帯に対する見守り、生活支援を担っている人が地域には多数いる。しかし、行き届かず孤独死という問題も起きている。憲法、老人福祉法の立場に立った施策を考えていくことが重要であることを再確認することができた。高齢者の生活実態に基づき、様々な施策が推進されるべきだが、財政状況は厳しい状況もあると思う。これらの状況を踏まえどう地域福祉を推進するか、その課題は何か、それらを住民主体で推進する為にはどうしたらよいか、地域に出向いて高齢者からの聞き取り、支援者苦勞など把握して高齢者福祉拡充を考えていきたい。

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6 年 8 月 31 日

北上市議会議長 様

北上市議会
議 員

日本共産党北上市議団
高橋 久美子

私(会派)が参加した次の 視察 ・ **研修** について次のとおり報告します。

期間(期日)	2024年 8月 6日(火)
視察先 視察内容 または 研修事項	オンライン研修 「市町村の高齢者政策はどうあるべきか」

[所 感]

No.1

・市町村はどのように高齢者の権利を守っていくのかという部分では、自分自身も母親の介護に長く密接に関わってきた経験から、とても重要だと考える。今から20年ほど前、医療現場で働きながら、介護度5である認知症の家族の自宅介護は、崩壊寸前でした。当時、特別養護老人ホームは、待機者400人以上、5年待ちと言われる状況であった。市役所に助けを求めましたが答えは、「自分たちで施設に申請しに行ってもらうしかないんです。順番です。」と。愕然としたことを昨日のことのよう思い返した。
・医療・介護・福祉の相談援助業務の目的は、対人間の個別援助を通した本人の幸福増進と社会の福祉向上にある。いのちは対等・平等、生きていることが大切。人間は自分らしく最期まで成長し続ける存在。医療や社会福祉は、誰もが困ったときに、経済的な心配をすることなく、必要なだけ受けられるものでなければならないと強く感じた。
・認知症や孤独死、貧困化など高齢者をとりまく問題が山積している状況で、社会保障給付費

の抑制があるのではと危惧する。

・高齢者誰ものシアワセに生きる権利が保障され、社会福祉の向上、増進させる義務は、国、市町村にあると考える。介護保険は国が決めているものだからとか、医療は、現場にまかせているからとか、生活保護の対象要件ではないと簡単に見放したりなどはせず、寄り添った対応を一番にすべき役割があるのではと強く感じた。

・今回の研修をきっかけに、憲法や老人福祉法をあらためて読みなおし捉えなおすことは大事と感じた。当市で介護職員の不足は把握されていないが、ヒアリングの状況では常に人手不足と聞いた。介護事業所は、高齢者の生活を支援する大切な場所であり今後も必要性が高くなる。撤退、倒産廃業が増えているという実態の説明があったが、当市においても、倒産などが起こらないように市独自で支援できる施策を提案していくことを大いに学んだ。

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6年 2月 28日

北上市議会議長 様

北上市議会 日本共産党北上市議団
議 員 安徳 壽美子

私（会派）が参加した次の **視察** ・ 研修 について次のとおり報告します。

期間（期日）	令和7年2月13日(木)から2月14日(金)まで
視察先 視察内容 または 研修事項 参加者	(1) 和歌山県橋本市 「農業振興条例について」 (参加者) 安徳壽美子、高橋久美子、田島清美

[報 告]

(1) 橋本市の報告

橋本市は、和歌山県の北東端、紀伊半島のほぼ中央に位置し、北は大阪府河内長野市、東は奈良県五條市と接し、和歌山市、大阪市の中心部への距離は直線でともに40km、京阪神エリアへの交通も便利であり、みどり豊かな田園地帯が広がるまちである。

農業振興条例については、橋本市産業振興条例に定めるもののほか、特に農業及び農村が抱える行政課題が複合化していることに鑑み、その振興に関し、基本理念を定め、並びに市、農業者、農業団体、事業者及び市民の責務等について明らかにするとともに、農業及び農村の振興に関する施策の基本方針や支援施策を定めることにより、活力ある農業及び農村における意識改革の確立並びに健康で豊かな市民生活の実現を図ることを目的としている。

橋本市では農業経営の持続的な発展を支援するため、市が独自に補助施策を設けて農業者を支援している。

令和7年度（案）では、11事業を予定している。

- ①県農産物産地化補助金活用促進事業
- ②経営継承支援事業 県事業との併用可能
- ③収入保険・果樹共済加入事業

- 農業振興条例は、地域の農業を支援・発展させるため施策の一環として制定されるのが望ましく、地元の農家や関係者との協力を通じて、持続可能な農業の発展を目指すものであると考える。また、技術革新の導入や、若者の参入促進、資金援助と金融施策、インフラ整備、マーケティングとブランディング、環境保護と持続可能な農業、国際競争力の強化などの取り組みを総合的に進めて農業振興を図っていく必要がある。

[illegible]

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和6年 2月 28日

北上市議会議長 様

北上市議会(会派) 日本共産党北上市議団
議 員 高橋 久美子

私(会派)が参加した次の **視察** ・ 研修 について次のとおり報告します。

期間(期日)	2024年 2月 13日(木)から 2月 14日(金)まで
視察先 視察内容 または 研修事項	和歌山県橋本市 「農業振興条例について」

[所 感]

No.1

- ・令和2年12月に農業振興条例を制定令和3年4月から施行して、農業振興条例関連補助金を市独自で農業に積極的に投入するなど、先進的な農業振興を行なっている。
- ・橋本市農業振興条例に基づき、橋本市産農産物のブランド強化や遊休農地の拡大防止、農業経営安定化などを支援し、農業を積極的に振興していくための補助制度が充実している。
- ・特に「訳あり」などの柑橘類を市場ではなかなか売れないものを、ネット販売促進していることが先進的と感じた。
- ・訳あり品をネット販売するための支援も、アウトリーチ型で、寄り添って丁寧に行われ、送料を令和6年度までは送料を市が負担していた。7年度からも送料500円支援は素晴らしい取り組みだと感じた。
- ・橋本ふるさと便や農作物インターネット販売促進事業など、農作物を送る際の送料補助や販売手数料を一部補助といった補助金制度を備えており、新規就農者も参入しやすい環境が

整っている。

・橋本市の先進的な市独自事業を当市でも前向きに検討していくべきだし、農家と市が直接関わることは全てにおいて好循環を生み出していることを大いに学んだ。

・橋本市は、和歌山県の北東端、紀伊半島のほぼ中央に位置し、和歌山市、大阪市の中心部への距離は直線でもに約40Kmであり、京阪神エリアへの交通も便利で、緑豊かな田園である。昭和50年代からの大規模住宅開発を契機に一時人口が急増し、住宅都市として発展してきた。現在は人口が減少していることから、積極的な企業誘致や、新たな工業団地の造設等を行っており、それに伴い移住定住のための定住支援にも取り組んでいる。

・農業振興条例は農業の担い手不足や耕作放棄地の増加などの課題解決のため、農業者だけでなく、市民全体で農地と里山を守っていくことを目的としている。条例制定に至った背景としては橋本市は総面積1万3000haのうち約2,000haが農地であり、そのうちの2割が遊休地、荒廃農地となっていること、農地の6割は70歳以上の農業者が所有しており、全体の3分の1が後継者にめどが立っていないことなどがあげられるとのことだった。条例はつくるだけでなく生きる条例になっていると感じた。

・視察後、ネットで橋本市の特産である柿が即完売している状況を確認できた。ふるさと便事
業の効果もあり、指定事業者となっている直売所では午前中のうちに完売するなど、消費者に
大変好評であり当市でも真似していく事例であると感じた。

[illegible]

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6年 2月 28日

北上市議会議長 様

北上市議会(会派) 日本共産党北上市議団
議 員 田島 清美

私(会派)が参加した次の **視察** ・ 研修 について次のとおり報告します。

期間(期日)	2024年 2月 13日(木)から 2月 14日(金)まで
視察先 視察内容 または 研修事項	和歌山県橋本市 「農業振興条例について」

[所 感]

No.1

橋本市の農業の担い手不足で抱える状況は当市も同じであり、農業振興条例の説明の中
で、「橋本ふるさと便条例」が一番農業生産者の収入アップに繋がられたそうだ。
橋本市の農業者が生産した農産物や加工品を、消費者が「橋本ふるさと便」事業指定事業者
より購入し、その消費者が依頼する送付先へ橋本ふるさと便事業指定事業者が発送する際
の「送料」を橋本市が全額補助する制度で、事業の実施期間中は何度でも利用でき、橋本
市の農産物等を家族や友人に贈り農家を応援してもらう。というものでした。(対象2,500円税
込み以上)
令和6年予算では、橋本ふるさと便で橋本農産物をPRする「橋本ふるさと便」9,000万円、
インターネットでの農産物販路拡大で「販売サイトの利用手数料の補助」2,267万5千円。
その発送する中には、「ふるさと納税チラシ」を入れ、地域産品を全国にアピールし、より多くの
人から応援寄付金をいただけるよう積極的に取り組み歳入を確保しようと活性化をはかって

[illegible]

担当課の方は、「農家に儲かってもらいたい。」と言って予算を取った。この事業があるうちに

事業を使い、全国から沢山のリピーターをつくってください。と農家へも話している。」の言葉に

は、農家を応援しようとする熱意が伝わってきました。令和7年度も人気だったこの事業は続け

ていくとのことで、令和6年度には全額の送料負担だったところを令和7年度は送料のうち500円

を負担することになっている。農家と全国の消費者をつなぎ合わせた事業は、新たな販路とリピ

は、農家を応援しようとする熱意が伝わってきました。令和7年度も人気だったこの事業は続け

北上市でもやる価値があるのではないかと考えています。

--	--

--

[illegible]

--

--

--

--

--

--

--

--

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6年 2月 28日

北上市議会議員 様

北上市議会 日本共産党北上市議団
議 員 安徳 壽美子

私（会派）が参加した次の **視察** ・ 研修 について次のとおり報告します。

期間（期日）	令和7年2月13日(木)から2月14日(金)まで
視察先 視察内容 または 研修事項 参加者	(2) 兵庫県豊岡市 「ジェンダー格差解消の取り組みについて」 (参加者) 安徳壽美子、高橋久美子、田島清美

[報 告]

(2) 豊岡市の報告

豊岡市は平成17年4月、1市5町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併してできた市であり、兵庫県の北部（但馬地域）に位置する。兵庫県で最も面積が大きい。日本で最後の野生のコウノトリの生息地として知られ、保護・繁殖・共生の事業が行われている。

2000年から人口減少が加速、2020年には20代女性の回復率（転入数282人に対する転出数990人）は28.5%になり、2040年には、高齢者人口（65歳以上）が生産年齢人口（20～64歳）を上回ることから、気がつく「若い女性たちが町からすーっと居なくなっていた」ジェンダーギャップが大きい（社会的役割や機会等の男女格差）ことが問題で、人口減少（特に女性が町を離れる）の加速につながった。

職場から変えることでまち全体を変える「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」が打ち立てられた（ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えていくため）

主な施策

①豊岡市ワークイノベーション戦略（2019年1月策定）

ジェンダーギャップの解消を職場のイノベーションから始めよう

②豊岡市役所キャリアデザインアクションプラン（2019年1月策定）

③ワークイノベーション推進室設置（2019年4月）

④豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略（2021年3月）

ジェンダーギャップ対策室に改称（2021年4月）

達成したい姿—ジェンダーギャップ解消の必要性を自分ごととして捉え、こどう豊岡市
ジェンダーギャップ解消戦略 戦略体系図（2021～2030年度）

- ・上位目的 この戦略において5～10年程度で実現したい姿
固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている
- ・戦略目的 この戦略において3年程度で達成したい姿
ジェンダーギャップ解消の必要性を自分ごととして捉え、行動する人が増えている

職場に加え家庭、地域、学校を含むまち全体のジェンダーギャップ解消に向けた取り組みを行う。

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6 年 2 月 28 日

北上市議会議長 様

北上市議会(会派) 日本共産党北上市議団
議 員 高橋 久美子

私(会派)が参加した次の **視察** ・ 研修 について次のとおり報告します。

期間(期日)	2024年 2月 13日(木)から 2月 14日(金)まで
視察先 視察内容 または 研修事項	兵庫県豊岡市 「ジェンダーギャップ対策室の取り組みについて」

[所 感]

No.1

トップがフルコミットメントしていること、分野横断的な組織の取り組みであること、専門家の
投入も含め、必要な予算を確保していることが大事であることを学んだ。
取り組みの経緯
・最初のキッカケが、女性がすーっといなくなったことに気づいたことであった。
これは豊岡市の「町の存亡の機」とし、今世紀最大の課題と認識したことからの取り組みであ
ることは大いに知ってもらいたいと感じた。
30年前であれば、真っ先に豊岡市に移住したと思った。長年染みついた固定観念をなくしてい
くには相当時間かかると思うがトップの考え方一つでそのスピードがはやまることがわかった。
・ジェンダーギャップの何が問題なのかを知ることが大切である。
令和4年度から、常時雇用する301人以上の事業主は、男女賃金の差異の情報公表されてい
る。計算方法は厚労省で決められている。正規職員の男女賃金差異は大きくないかもしれな

いが、臨時職員、地方公務員法で制度化された非常勤の地方公務員の会計年度任用職員との差異は大きい。

女性は妊娠、出産、育児、家族の中での主な介護の役割があり、このような臨時職員は女性が多いが、それが普通、当然と考えるのか、「いやいや違うでしょ。女性も同じ仕事をしているのであれば同じ賃金じゃないとおかしいでしょ。しかも、妊娠、出産は変わることは出来ないが、育児、介護は男性もやろうね。出産が機にキャリア継続の障壁になっちゃいけない。

幹部と言われる女性が異常に少ない。強いて言うならば、保育士、看護師、介護士などのケア労働者は、昔ながら当たり前に女性がやってきた流れで低賃金となっている。これは、即改善しないとイケないよね。」と、私自身が、ずうっと心の中で感じてきたことを文書、言語にして明確にしてもらったと思った。

生涯賃金格差は、最初から臨時職員で働く女性と大企業などで働く男性と比較すると1億円の差異があるとも言われている。豊岡市の実態、51~60歳平均年収、男性は480万円、女性は251万円。男女格差はとんでもないくらい年代とともに拡大していた。このような事実をどう受け止めていくかが鍵だと考える。自治体トップもでいるが、市民一人ひとりが自分ごととして考えていくことが大切だ。

取り組みの内容

・職場「ワークイノベーション」では、女性がこうありたいという姿にむかい、いきいきと働く人が増えることを目指した。①定着率の拡大のために働きやすい事業所が増えること。②働きがいのあるモチベーションの向上。③働きやすい事業所が知られる成果の可視化。④性別役割分担意識にとらわれない意識の変化。という戦略的政策の一つに経営者向けセミナーで、無意識の偏見に気づき組織風土や行動を変えていったことは素晴らしいと思った。

・地域、学校、家庭の中にぐいぐい入って、ギャップの背景にあるものを明確な課題として積極的に取り組んだことは素晴らしいと感じた。特に、明確な課題として①ギャップ解消のメリットが自分ごとになっていない②男女がフェアに働き続けられる環境整備と意識改革が必要③若い世代の声が政策に反映されていない④女性は発言を控え補助的な役割を担う傾向と

いう課題に正面から取り組むことが重要と感じた。

・子育て中の女性の就労支援

子育て中の女性の就労促進、プチ勤務という取り組みについては自分自身、ついていけてない部分があった。子育て真っ只中でも、専門職のスキルアップ、キャリア形成への努力しているわけで、プチ勤務じゃないでしょうと思うところもある。単身女性高齢者の低年金は喫緊の問題だ。

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6年 2月 28日

北上市議会議長 様

北上市議会(会派) 日本共産党北上市議団
議 員 田島 清美

私(会派)が参加した次の **視察** ・ 研修 について次のとおり報告します。

期間(期日)	2024年 2月 13日(木)から 2月 14日(金)まで
視察先 視察内容 または 研修事項	兵庫県豊岡市 「ジェンダーギャップ対策室の取り組みについて」

[所 感]

No.1

全国から毎日視察が入っているという豊岡市。NHKでも特集番組で取り上げられていた。
今、日本が抱える最大の社会課題としている中で、なかなか前に進まないのはなぜなのか…
そんな思いがめぐっていた中、視察できたことは大変学びになり良かったと感じています。
人口減少の問題に「地方人口減少の原因は出生率の減ではなく、女性の社会減である」と
ジェンダーの考え方を引き寄せた点は、とても魅力的に感じられました。
「まちの存亡の機～今世紀最大の課題～」と題された説明資料にはハッとさせられ、2時間の
説明はあっという間の時間に感じられたほど、こんなにも自治体で取り組めることができるの
かと豊岡市の本気の取り組みについて感動しました。
豊岡市の多様性推進・ジェンダーギャップ対策課は、10名で進められてきたそうです。まず、
事実を見て、市内の企業や事業所を対象にジェンダーギャップの解消の取り組みをはじめ、
地域、家庭内へと広げ、令和7年度からは多様性を追加されていくということでした。

【2024年10月】市議会アンケートまとめ

1.暮らし向き

イ、苦しい 114 口、変わらない 38 ハ、良くなった 0 無記入…38

理由: イ 収入減 54 ・年金 35 ・退職 8 ・雇用の変化 7 ・その他 7

口 支出増 65 ・子育て 7 ・医療 33 ・介護 13 ・増税 14 ・交通費 13

その他: 10

- ・夫が認知症で施設入所費用
- ・光熱費の増加
- ・食料等全般
- ・仏事
- ・生活費すべてが値上げとなっている。
- ・大学の学費
- ・子育てへの支援

ハ 物価高 89 ・食料 63 ・資材 7 ・ガソリン 10 ・電気 9 ・灯油 6

- ・光熱費
- ・生活費全般
- ・プロパンガスが高い
- ・ペットのごはん代、シーツ、トイレ砂等

ニ その他

- ・ありとあらゆるものの値上がり
- ・暮らし向きが悪くなった
- ・病気
- ・孫の学費援助、息子・娘の収入低く頼られる
- ・年金以外の収入がない
- ・交際費
- ・ガソリン代が高い
- ・困っている人もいます。
- ・税金が高い。住民税など、など…。
- ・我が家のエンゲル係数は今近の2・5倍になりました。
- ・孫の大学学費援助、親は低所得で負担は無理
- ・病気、孤立、孤独
- ・コロナ以降ボーナスも減り元に戻らない
- ・小学生の子ども2人不登校で悩んでいる
- ・暮らし向きが悪くなった
- ・病気で休職中。
- ・ガス代、灯油
- ・家屋、家具、電気器具等の寿命で買い替えが必要。

- ・消費税減額を考えていただきたい。生活必需品の価格がアップになっている。給料アップの方向に考えていただきたい。
- ・息子、娘たちが困っていて頼られる。
- ・養育費が入らない。
- ・値上げの理由が人件費と言うが、人件費上がっていないのに物価だけ上がる。物価高は政治の責任です。毎日の生活費が高騰しているのに収入同じ、どうして？公共料金あげないでほしい。公共料金など一つ一つ合わせるとずっしりと圧迫される。
- ・冬の暖房費の負担。
- ・仕事上で使用する物品が高い。
- ・何故第3子から児童手当は増額なのか。第2子のみだって大変だし、なんなら第1子のみでも大変。子どもの数で全額が変わるのは不公平。第1子から予算にするべき。第1子、第2子は、第3子のための踏み台なのではないでしょうか。

2.市政に望むこと

- イ、使用料、手数料引下げ 85 (ごみ袋の手数料 59、公共交通料金 8、施設使用料 2)
- ロ、国保引下げ 81
- ハ、無医地区診療所 33
- ニ、公共交通の充実 30
- ホ、道路の改善 32
- ヘ、安全対策 21
- ト、その他

イ、使用料、手数料引下げ:

- ・ゴミの分別が多すぎる。無料にするべき。収集時間を夜にするべき。効果をあげている自治体がある。市民が歓迎しているとの報道があります。
 - ・都市ガス化
 - ・ゴミ袋が高い。その分、市のゴミ処理費の支出が減っているの？
 - ・ごみの手数料半額にするべし
 - ・手数料廃止はごみの増加を容認するため好ましくないが、現行の料金を半額から1/3程度に引き下げてほしいです。
 - ・手数料収入をごみ対策(特に集積所の整備、公衆衛生活動の協力者へ支援)にあててほしい。
 - ・隣の市とのごみ袋の値段の差
 - ・汲み取り量や水道料が高い
 - ・各種税金
 - ・ごみ袋が高いのに破れやすく困っています
 - ・子どもがほしいが保育園料が高い！！保育園の無償！！ごみ袋が高い
 - ・花巻のごみを北上に持ってきて焼却するのに、花巻市のゴミ袋はスーパーの袋でもなんでも良いということです。なぜ北上市だけ高い黄色のごみ袋を使用しなければならないのでしょうか。
- わたしは足を手術し、母も介護4です。ごみの収集の場所に歩いてごみを持っていきません。週2回ごみを取りに来てごみ収集の場所に捨ててもらう業者に依頼しています。ごみ袋(黄色の市役所指定)を購入し、ごみ捨てに業者依頼してお金がかかります。せめて、ごみ袋の手数料を下げてくださいと思います。
- ・可燃ゴミは週3回、不燃ゴミは月2回、回収して欲しい

- ・北上だけなぜ、こんなにゴミ手数料高いの
- ・不燃ゴミ処理施設の早期建設
- ・手数料自体がおかしいのではないかと、特にごみの手数料
- ・ゴミ袋に関して、市民のマナー向上する方に頭を使って欲しい。手数料無料は反対です。
- ・ゴミ袋の値下げ、周辺自治体に比べて高すぎ。
- ・ゴミ袋も生活の負担、少し安くして欲しい。
- ・ゴミ手数料の決算報告して頂きたい。
- ・介護用品、尿とりパットなどは無料にしてほしい。
- ・ゴミ袋が無料のところあり。

- ・堤が丘から上野町に行く道路が欲しい
- ・藤沢～春木場～上野町に行く歩道と道幅を広く欲しい
- ・堤が丘第2公園に入る道路幅を6メートル以上に広げて欲しい
- ・田畑など宅地にする前に道路を通してから宅地整備をすべき
 - ・市独自の物価高騰対策に取り組んで欲しい
- ・道路の白線が消えていて運転が難しい。他県よりの移住者
- ・全天候型の子供の遊び場広い施設の設置
- ・むらさきの駅周辺に歩道設置
 - ・施設の改善一老朽化、大きいだけで使いにくい
- ・全般に道路のでこぼこが多い
- ・住宅団地の公園活用、利用価値を高める工夫を
- ・8月28日の大雨で自宅前冠水速やかなたうおうを。(上江釣子16-66-8)
- ・児童公園の桜の木の枝が折れたまま何年も放置されたまま
- ・野中～後藤の線、103号 豎川目から花巻の道路改善
- ・後藤野工業団地の拡充整備のための大型トラック等増加している、道路の拡幅が必要
- ・河川の樹木の整備
- ・103号線、豎川目～花巻、野中～後藤野線樹木の伐採
- ・穴や亀裂だけの道路補修が多い
- ・東桜小入口の交差点、県道のカーブが危険

・くま、鹿、猿等の被害に対し具体的な対策を講じてください

- ・自転車道路不十分にも関わらず法律先行
- ・少なくとも30年後の都市計画のもと、市街地の再開発や居住地の外緑化に対応すべき
- ・北上駅東口のローソン～ホテルシティプラザの間の冠水・溢水対策 緊急かつ重要
- ・飯豊地区の特定健診の日程が毎年11月なのは困る、雪道運転が怖い
- ・公園遊具の整備と充実化を(やさか幼稚園隣の公園遊具はテープで使用不可のまま、撤去して新しい遊具の設置を希望)

- ・産業道路、常盤台の混雑の解消
- ・通学道路の歩道の整備、スクールゾーンの点検と整備
- ・〇町・大堤線の道路整備。
- ・地図あり。東小学校手前、両方の歩道が崩れかかっている。整備必要。
- ・次々に道路が出来ているが必ず空き地が残っている。設計する段階で空き地を減らしていくことは出来ないのでしょうか。
- ・雪のため国道4号、107号が大渋滞。

- ・稲瀬市道、道路沿いの立木が障害。
- ・あちこち、ガタガタ道路ばかり。
- ・むらさきの駅北側に信号希望。二子小学校鳥喰コンビニ前信号希望。
- ・震災マンホールなどの被害で波うっている道路が未だそのままです。
- ・飯豊中学校の裏にも工業団地を作ろうとしている。今でも交通量が多いのに子どもたちの安全は守れるのかとても不安です。
- ・西小プール、授業している様子が道路歩道から丸見えです。塀を建ててもらいたい。
- ・信号機の設置を(日高見クリニックの奥)
- ・車道端の草、車庫入れの器具が危険。
- ・外灯が少なすぎ。
- ・国道以外の除雪、早期にお願いしたい。

二・公共交通の充実:

- ・無料バス、タクシー券は助かっているがバス利用の機会がなく無駄にしている。4千円は通院2回程で消化する、一考を願う
- ・バスの便数が減少。乗客が少ないのが気がかり
- ・バスの回数を増やして欲しい(土曜、日曜)
- ・生活するために必要な交通の手段(公共手続き含む)
- ・ミニバス、タクシーの充実
- ・バス券、タクシー券よりワクチン補助がほしい。停留所がない、駅も列車もないので使い道のない人が多い。
- ・90代で車を運転して来院する患者がいてとても怖い。免許証を返納しても良いくらいの公共交通機関の充実をしてほしい。
- ・病院通いが思うようにならない。バスの本数が少ない。
- ・バス路線の復活。
- ・現在の足の確保の実態を。例えばバスの回数少ない。
- ・高齢者にとって、バス停まで歩くことは困難。
- ・利用希望者の自宅付近までオンデマンドコミュニティバスを走らせて。
- ・高校への交通手段 バス路線の充実と朝夕定期便など。
- ・県交通バスが通れば便利。
- ・工業団地(むらさきの)の夕方等の不便さ。
- ・おにまるくん料金を盛岡のでんでん虫号のように、地区をこえても一律にしてほしい。介護度が高ければバス代、タクシー代を軽減するとか。
- ・小型バスにして巡回数を増やして。
- ・定期バスがなくなった。
- ・さくらホール、さくら野、図書館など人口が集まる場所への停車本数を増やし集客の方向に。バス網の充実。廃校、無医地区にバスタクシー券を倍加してください。
- ・タクシー券、本当に必要な人に届けた方が良い。

ホ・道路の改善:

場所

- ・中野町と上野町境の陸橋階段の補修
- ・生活に孤立しない道路(全市内)

- ・常盤台(すき家より北の交差点)の凍結対策
- ・小鳥崎～細越線の拡幅
- ・車がないため雪の歩道は傾斜だらけで車道を歩いている
- ・ニノ台住宅の所(穴がぼこぼこ)
- ・下江釣子妻川～江釣子十文字辺り、バス道路マンホールが6～7続くところ。工事ばかりしてマンホールと舗装した道路の高低差がひどい。雪が降ると更にひどくなり車が壊れそう。
- ・孫屋敷の東小通学路。雨水が溜まり、車による水はねがひどい
- ・サンデー北上里分店裏の市道
- ・あちこちのアスファルトの経年劣化があり、走行するとガタガタ振動します。
- ・二子地区県道にカメラを付けて
- ・東日本大震災により市道、マンホール前後が沈下し凸凹があり。常盤台1丁目(黒北高通り)ブレイド理容店前

ヘ・安全対策:

場所

- ・川岸～川端線、小鳥崎細越線の街路灯の増灯
- ・北上川の堤防途中では？
- ・孫屋敷の東小通学路。30k制限の道を50～60kで走る車が多い
- ・里分地区の住宅地に一時停止や街灯が少なく、子どもが多い地区なので整備してほしい。
- ・下江釣子16・63付近に外灯が少ない。子どもが多い地区なので心配です。もう少し外灯を増やしてほしいです。

ト・その他:

- ・木や花が歩道にはみ出て歩行者には迷惑
- ・市街地が寂れて景観の悪いところがある。古いビル等所有者との協議の上、再開発し有益な使途を考えて欲しい。
- ・公衆衛生対策(ごみ)について、アパート利用者の方へ「出し方・分別」について周知をアパート管理会社・大家から周知徹底するよう行政から申し入れしてほしい。
- 外国人(実習生)雇用企業の責任で「ごみの出し方・分別」について研修支援を行政としても各母国語の「分別・出し方」説明資料を提供支援してほしい。英語、韓国語、ベトナム語版はあるが、インドネシア語、タイ語、ミャンマー(ビルマ)語版などの作成をお願いしたい。
- ・児童手当など子どもに関する手当での増加
- ・中野町の歩道橋。階段が欠けていたり、ボロボロ。夜間ライトもなく上り下り怖い。
- ・市民税の見直し
- ・物価高騰への対策支援
- ・大きなスーパー、薬屋さんなどができて便利で良いと思うけど、互いに客の取り合いではないか。コンビニも増えている。地元民にとって良いことなのだろうか。

3.北上市立大学設置

イ、必要だと思う51

ロ、必要ない67

ハ、わからない38

イ必要だと思う:

- ・北上は以前から第二の川崎というくらいの工業都市で力を入れている
- ・総合大学でないと人は集まらない。町っくりの構想を明確にしてからやるべき
- ・都市の活性化
- ・近くに大学がないため県外へ出てそのまま戻ってこない
- ・北上市もいずれ少子化が進むので
- ・人材のレベルアップに良い・学力向上の為
- ・工学系では漠然としている。機械、電気、デジタル (IT、AI) 等何か?
- ・必要だと思うが、文系と理系をバランスよく検討すべき 口, 必要ない 18
- ・地域の活性化。
- ・若い人が多く居ることは大事。
- ・選択肢が増える。x2
- ・若年層を市内にとどめる。人口増加、県外流出を防ぐ。
- ・持続的な市の発展に大きな力となる。
- ・場所は黒工高の近くに。会社が多く、良い人材が必要と感じる。
- ・雇用につながる、若い人たちの意欲も増すと思う。
- ・産業振興に寄与する人材の育成に役立つため。
- ・地域の将来を考えたときに有用だと思う。
- ・就職の面でも良いのではないかと。人口の流出が少なくなるのではないかと。
- ・若者がいなくなるから。x2
- ・親御さん、子どもたちが楽。経済面なども。
- ・若者を呼び込む、消費が増える、定着をはかる。
- ・人材の増加・市街地以外
- ・経済的に在宅で通えるように
- ・後継者が地元での生活で人口増
- ・岩手県の工業都市になりうる地域。教育の充実は必要。
- ・若者の定住に繋げていくことが重要
- ・北上市が注目される。活気が上がる。
- ・楽しく学べることはいいことだ
- ・工業団地やキオクシアもあり、産業連携もしやすく若者が増えることで活気が生まれやすくなるため。
- ・若い人が地元に残れるように。または他県の若い子たちが北上に来てほしい。
- ・人口増が見込める
- ・これからの時代に活躍できる人材の育成に期待する
- ・富士大等は交通の便が悪い。県立盛岡大学も不便。

口必要ない:

- ・既に就業している労働者に対して成長産業へ転職を促す再教育を行う場所をつくるべき。成人教育の方が大事
- ・少子化なのに大学増やしても意味がない。大学出ても仕事が無かった
- ・少子化で定員割が増えている中新たにつくる必要はない。県内にある大学との連携をしても良い

・盛岡、花巻の大学に工学系の学部も作れないのに北上だけで作れるのか？講師がいるのか。工学部が半導体メインと考えている場合東北大のようにスーパーC/Rと有名教授がいる。スケールの大きい構想が必要、ILC誘致できていないのに。

・夜間大学を作った方がメリットがあるのでは？（私なら入学したい）

・人口が減る中そんな無駄なことは不要

・岩大、で十分実力の伴わない大卒はいらない。税金の有効活用

・日本の将来を世界的視点で見れば不安が残る

・学生は中央に行きたい・駅弁大学、赤字必須、北上市の見栄

・大学は定数の足りないところが沢山ある。足りないところへ向けては

・市で行うのではなく、私立大学を誘致すべき

・大学過多

・優秀な学生は県外に出る

・県民のお金で開学した県立大、県内高校生優先で入学とスタートしたが今はどうか？同じ轍は踏んでほしくない

・今ある大学を活用。岩大工学部などあるのになぜ必要なのかわからない。

それより先に小中学校のエアコン設置、ボロボロのところを修繕を

・昨今、東京大学の授業料値上げに対し学生たちの抗議運動が起こりました。ことの発端は私立大学側からの「突き上げ」が起因していたとか。最近、大学改革で「選別や差別」政策が執拗に行われているようだ。一方、アルバイト等、学生環境の貧困化も気懸りです。国の貧しい教育現場の実績はどうでしょうか。憲法26条の教育を受ける権利に対して受益者負担制度がまかり通ってさえおります。僅か、人口5万人の市の財政で介護や医療費に圧迫されている中で、市、財政の公平な執行が疎外されていませんか。市立大学の設置は無謀な構想としか思えません。止まるべき。

・何故設置するの？そのお金を住民に還元してほしい。メリットがわからない。設置するにしても黒工高の近くならわからなくもないが、何故市街地に必要なのか。

・他に大学がある。維持費用の負担増が見込まれる。経営不調だった場合には、市の負担がエンドレス。終わりのない負の遺産となる。

・そんな事を議論するより田舎の利便性、とりわけ道路整備に使うべき。市議の人たちの「いかにも仕事してる」のパフォーマンスにしか見えない。

・大学も企業へのサービスみたい。企業の方ばかり向いてる感じ。

・負の部分、知らない若者が増える不安、家賃高騰、学生と地域住民との信頼感の確立等で経済優先ではなく、まだまだ市民とのなしあいやが必要。

・少子化で見合わないと思う。x5

・市の人口、20年前には今頃は10万の予想だったが延び悩んでる現状。

・将来的に運営費の負担が重くなる。大学よりも要望が幼保小中の施設や教育費の充実を。

・学部を指定した大学であれば不要。

・岩手大学工学部が情報系を充実しているので人材育成は国立大で対応でき、志願者も地元国立大に向かう。市立大学設置後は志願者が集まらず定員割れとなることが予想される。

・もっと優先すべきことが多くある。

・他の大学も入学者減少、財政的にも困っている。

・設置と運営に莫大なお金がかかる。国立か県立なら賛成。学生支援、奨学金制度の拡大を充実するとか、医学部進学者の支援をし岩手に残ってもらうとか。

・大学より先に市民1人1人の暮らしの豊かさを充実してほしい

- ・少子化で県立大まであるのに増やす理由が見当たらない
- ・資金が大きい。将来的に日本で大学が余る。
- ・大学は設置してから10年位は赤字と言われている。大学設置基準上、専任教員が定められています。人件費や設備投資等考えた時、この定員でペイできると思わない。少なくとも4年後の予算を示すべき。赤字の補填はどこがどんな形で行うのか、独立採算が可能かどうか検証するべきと考える。
- ・建設費が膨大。市民のために使って欲しい。
- ・富士大に工業系をつくれればよいのでは？
- ・少子化。通える範囲にある。
- ・維持費はどうするのか？
- ・入学生が十分にいるとは思えない。
- ・企業のための人材確保という気がする。大学をつくるお金を奨学金にまわして市内の高校生が将来北上に戻って働いてくれたら返さなくてもよいようにした方が良くと思います。
- ・卒業後は地元就職する経緯がない。建設費は福祉にまわして欲しい。
- ・少子化。別の介護施設の方が先だと思う。老々介護は大変。
- ・キオクシアが来てから治安が悪くなって、大学ができたりますます良くならない。それより介護！！
- ・北上さ大学などいらね。企業本位やめろ。

既存の私学振興を育成して欲しい。少子化大学は必要なし

- ・新設大学に入学したとしても卒業後県内もしくは市内に残る学生は少ないと思われる。そうなれば借金は増えるばかりで新設する意味がない。
- ・そんな所にお金をかけるなら保育園を無償にしてほしい。そもそも大学を建てるメリットはなんですか？

- ・ほかのことにお金を使ってほしい

ハ わからない×10+10+18

- ・本当に必要か？必要性を吟味して欲しい
- ・出来るとしたら交通の便を考えて場所を決めてほしい。
- ・工学系といってもどんな学部か、市内・県内の高校生が入るのか、少し出来る子は盛岡の大学さえ行きませんよ、数年前釜石市でも同じような発想で学校をはじめたが今どうなったったかな。
- ・若い人は減っているのに。

○はないが当事者の答え:

イ 自分だったら入学者してみたい

ロ 入学したいと思わない

- ・大学より先に市民1人1人の暮らしの豊かさを充実してほしい
- ・少子化で県立大まであるのに増やす理由が見当たらない
- ・選択の幅が少なく学部が偏っている。どのような人材を育てたいのか将来が見えない。
- ・学部がないため
- ・自分が学ぼうとする系統の大学ではないから

ハその他:

- ・卒業後、北上市を盛り上げることが出来るのが必須！！

- ・市内の小中学生が合唱で素晴らしい結果を出しているので、市民にもっと音楽が身近になるような環境、施策を。よくある街ピアノもよいかも。
- ・何よりもその必要性、将来性について市民への説明が求められています。
- ・北上市は工業に力を入れ過ぎではないか。農業はどうなるのだろうか。
- ・少子化時代、高校の充実が大事、大学は必要なし、失敗の元。
- ・県立大や岩大でも県内就職率は低い、県立・国立は必要だと思うが市立は身の丈を超えている、何でも予算がないと言うが、何故大学設置する財源があるのか心配。
- ・北上の高校生の学力が下がっている。偏差値でみると黒北13位。小中学校から大学よりも学力向上に力を入れるべき。
- ・現東陵中学生1年生徒は、6年生で4校統合、中学3年で北上中との統合。生徒の気持ち考えていたでしょうか。高校入試準備の学年です。精神的に落ち着いて取り組めるでしょうか。
- ・財政力あると言いながら少子化対策は無策ですね。どうすれば良いか全国にお手本たくさんありますよ。

4.江釣子へ認定こども園

- ・公的機関より民間の方がサービスが充実している
 - ・公立園の方が安心して預けられる
 - ・利用者である地域住民の声を尊重し、市の事情のみを優先することがないように
 - ・統合が良いとは思えない、小学校の統合で文化面のレベル低下が目立つ
 - ・少子化、過疎化が進む
 - ・株式会社の保育サービス事業者が他県で問題があったと新聞で知った。3園を廃止に反対。
- 昔のように高齢者を考え、子育て者が働けることを考える行政。
- ・新園等の報道の前日に保育園に説明があったが、唐突であったため、役所に対し不信感を持っている。会計年度職員(常勤、非常勤)等が職を失うことになる。
 - ・仕方がない。
 - ・公的機関より民間の方がサービスが充実しています。わたしも実際、経験しています。
 - ・いいと思います。子どもも少なくなっているので。
 - ・わからない
 - ・現行のままで個々のレベルアップをはかるべきだと思います。
 - ・大事なことだと思います。反対。住民の不安は大きいですから。
 - ・公立の園の方が安心して預けられると思います。よくよく協議を。
 - ・行政運営の保育園は残すべき
 - ・3園、各園の良い点を延ばしていくべきと思う。廃止となれば各園の保護者たちの負担が増えると思うし、子どもたちへの不安が増すと思うので計画に反対です。
 - ・市の担当者は計画の内容をしっかりと把握しているのか、民間事業者に任せるのは反対。
 - ・長く地域住民、保護者との関係を築いてきた園を、地元住民や保護者の意見を聞かずに統合することには賛成できない。なぜ県外(広島市)の株式会社の経営に委ねることにしたのか。地元あるいは県内の社会福祉法人、学校法人など、福祉・教育の専門法人へ働きかけたのか。基本的には営利ではなく非営利団体(公営を含む)の運営とすることが求められている。
 - ・利用者である地域住民の(この人たちはこども園を支えていく人たちでもあるので)声をもっと尊重し、市の事情のみを優先することがないようにしてもらいたい。
 - ・もう数年様子を見て市民と子どものために理解を得て、3園ではなく1園ずつ廃止にしたほうがいい。

・県内または市内の実績のある(保育事業)法人にお願いした方がいいと思う。「こん感じで保育をしている」というのが見えると安心して子どもを預けられるのでは。保護者の方もりかいしてもらえるのでは。

・保育園ほか子どもたちのことがよくわからない老々家族です

・子ども園をつくることはよいことだと思うが、運営側の子どもに対しての関わりが良くないと話しを聞いたので、親は不安が大きいと思う。

・民間運営のため、議論を深めて慎重に行うべきである。

・金銭的にどう変わるのか、事故や問題等にきちんと対処でき会社になるのか。誰が管理観察するのかをはっきりしてから議論だと思う。今のままで良いサービスは出来ない考えられているのか？

・統合することで働く人材がまとまって人材不足が低減できると思う。江釣子地区は、人が増えているので広く過ごしやすい場所と建物にするといいと思う。事業者はしっかりした所にお願いしたい。

・わかりませんが公的に進めるべきです。

・市が責任を持って、子どもたちを育てていくことにもっと力を入れてほしい。民間に任せてしまえば良いというものではないと思う。保育園はなるべく近くにあった方が良い。まとめて3園分一ヶ所にしてしまって、親等の送迎は負担にならないのだろうか。

・市立幼保育園3園の閉園中止についてご協力ありがとうございました。大変うれしく思っています。市の方針である「民間で出来ることは民間で」について考え方は分かるがそれを全国で進めているのが現状であるがゆえに不適切保育も増えている。公立比べてしまうと、どうしても保育の質が低下してしまうと思われるので民間企業に子どもを預けたいとは思わない。

・公的保育園、幼稚園が働く人にとっても、子どもたちや親にとっても一番安心だと思う

・そもそも株式会社として私営化するということは、地域住民が公的サービスを受けられなくなる。ということ、その是非は事業者ではなく住民が主体的に判断すべき。当該事業者は北上市民ではない、地域のことも知らない。廃案になった計画を見たが、「3園」統合で「あれ」なら北上市の江釣子地区で子育てしたい親はいなくなる。少なくとも「利益優先」の計画は本来の子育ての主旨にはそぐわない

・大学作って保育園を廃止するってどういうこと？保育園こそ必要。大学いらない。

・全国的に保育事業に企業が参入してトラブルとなっている為、働く側、預ける側ともに不安がある。市への不信感につながらないような運営体制であることを願う

・市と事業者の説明会で「民間でできることは民間で」という市職員の発言に違和感が残っている。雇用を流動化し非正規職員を増やしてきた政策が、考えの同根にあるかと思う。もしくは何も考えず上司の言われた事を言っているのかもっと一人ひとりを大事にした社会を望む。

・サービス低下と職員の待遇をどうするか見えない

・少子化対策の逆をいくのはいかなものか

・確実な事業者だといいが、利益優先の事業者だと利用者に不利益を生むので、公共機関が良いと思う。

・地域住民の同意など条件が必要では

・保護者の負担増の観点を注視し、業者選定にあたっては十分に説明をする必要がある。丸投げはやめて欲しい

・地域に寄り添ったサポートができない

・園は公営が良い。子ども園一つでは園児が多すぎる

・しっかり利用者の意見を聞いて計画を立てて欲しい

- ・廃止することに同意できません
- ・市も議会も近視眼的、江釣子地区の将来像があるのか
- ・十分な広さの園地を確保すること等の環境整備が第一に重要
- ・市立大学のお金があったら江釣子地区の園の廃園をやめて園のために使う
- ・現在の園に通いそれぞれの園に愛着のある子どもたち、親御さんもいる。江釣子駅のすぐ脇で満足に外遊びもできない程の広さしかない敷地で間違っ走って線路に出てしまう可能性も考えられる。よって反対。
- ・子どもたちの健全育成のため公がしっかり運営した方が良いと思う。
- ・医療や教育の事業は、市による直営が最も適切であると思います。人口減少時代であればこそ、小規模、少人数の利点や希少価値を大切にする視点が求められておりますし、大都会のマンモス校の教育よりも市のような小都市型・学校教育活動の成果がより顕在化してきているように思います。地域の教育・医療は市行政の基幹的業務です。幼保園の廃止を見直し、一方、株式会社化には当然経営者の利益追求指向による疎外関係が発生し、園児にも従業員にも良い環境事例は少ないのではないのでしょうか。
- ・3園を一緒にすることは賛成です。ただ事業者に関してはもっと調べてからこの計画を進めたほうが良い。
- ・反対です。
- ・子育ての義務放棄だと思う。快適な環境の中で子どもたちを育てるべきです。
- ・保育園は増えてしまうが、すぐ働くことができる環境ができるので良い。
- ・民間参入は当然のこと。
- ・良い。社福や素人が保育にかかわるより委託した方が良い。子どもや職員にサービス、処遇良くなる。介護、保育等は社福や素人は、働いている人に教育しないから粗雑である。
- ・統合が良いとは思わない。事業者は保育の何を理解しているのか。目指すのは経営だけの問題ではないはず。市の保育園は、常に研修を重ねより良い方向に子どもたちを導こうと頑張っていると思う。孫は昨年から統合した小学校に入り現在6年だが文化面でレベル低下が目立つ。4校あったころの方が恵まれていた。
- ・子育ては行政が責任を持って行ってほしい。事業者が入れば経営が優先され、保育費値上げ等につながります。子育てが食べ物にされる恐れがあります。市の責任で未来を背負う子どもを育ててもらいたい。
- ・サービス事業者では、良い事も悪い事も見えてこない。市民みんながわかりやすく、また関わる事が大切と感じます。
- ・営利目的の民間を教育に介入させるべきではないと思う。
- ・賛成。開始時期が遅れるようだが少しでも早く実現してほしい。
- ・どんな話し合いがなされているか情報が無い。
- ・良いと思う。少子高齢化であること、保育士確保の観点より。×2
- ・今まで通りの施設で心のこもった教育・保育をしてほしい。
- ・幼稚園が統合の対象はわかる。保育園は定員を満たすくらいいるので廃園する必要ない。コストを考えてのこととは思いますが大学はコストを考えないのか。統廃合するとしても公立で運営してほしい。公立なら何か問題があっても市に申し入れたり市議会に意見を言うことも出来る。会社運営は利益を出すことが使命で保育士の処遇に問題が出て、あげく子どもたちにも影響する。民間移行するにしても市内の法人を公募すべき。
- ・業者は市立より命がけである。

・新聞を見てこんなことがおこっていたのか始めて知った。まだまだ知らない人が多い。子育て中は保育園に簡単に入れず大変だった思いがあり、それはないよと思った。中止になって良かった。

- ・子どもが安心して生活できる、公立をなくしてはいけない。 ×2
- ・十分な敷地、安心して預けられる体制が必須 ×2
- ・地域住民の声を反映させること。
- ・営利目的は反対。
- ・幼児教育環境、人的環境が整い、運営費面で無料がないのであれば推進して良いのでは。
- ・市が運営すべき。廃止により料金が高くなりやすくなる。
- ・早急に事業者を確認する。
- ・現場に合わせた再編は必要。運営を誰が行うかは特段関係しないと考える。
- ・民営での運営は良くない。どうしても儲けが第一になってしまうようだ。

5.中小零細企業

- ・インボイスの中止と消費税の減税
- ・物価高騰、賃金引き上げ
- ・材料費の高騰
- ・タクシー券、本当に必要な人に届けた方が良い。
- ・国道以外の除雪、早期にお願いしたい。

6.農畜産業

- ・資材価格高騰、農業機械も高く赤字続けられない
- ・後継者不足、若い人が就農を希望するような農政であるように
- ・農家へ直接所得保障を、米、野菜の値上げが十分でない
- ・農地が荒れている草ボーボー、不安が募る
- ・後継者不足の中で土地改良を進めようという計画あり、地権者の負担増が見込まれ小規模農家潰しに向かっている。
- ・農家への直接所得補償をすべき。
- ・集団化だけでなく家族経営も手厚くしないと限界集落、ポツンと一軒家が増えて行政の支出増える。
- ・高齢者が多く水田も畑作も出来なくなり農地が荒れて草ボーボー。不安がつのります。
- ・米作りの後継者が今後どうするかハッキリしていない。
- ・国民に不安をあたえないで、農民を守れ、自給率向上を。
- ・農業をやめた(働き手がいらない。若者がでていった)

困っていること・要望

- ・後継者不足→生産組織充実の助成を願う
- ・農業機械が高く農業が続けられない。リース機械等があれば良いが！！
- ・ガソリン等の値上がり(道路関係費が価格に含まれているので草刈りなど大変)
- ・資材価格が上がり赤字でやっていけない
- ・肥料、農薬、機械等の値上げの割には、米・野菜の値上げが十分ではない
- ・天候不順、資材・農薬の高騰、人件費も高騰、人手不足

- ・もう少しで80歳になる高齢者で農業を営んでいる。担い手も高齢者がほとんどなので若い人が就農を希望するような農政であるように
- ・農業等第一次産業の強化に力を入れて欲しい
- ・後継者不足の中で土地改良を進めようという計画あり、地権者の負担増が見込まれ小規模農家演しに向かっている。
- ・農家への直接所得補償をすべき。
- ・集団化だけでなく家族経営も手厚くしないと限界集落、ポツンと一軒家が増えて行政の支出増える。
- ・高齢者が多く水田も畑作も出来なくなり農地が荒れて草ボーボー。不安がつのります。
- ・米作りの後継者が今後どうするかハッキリしていない。
- ・国民に不安をあたえないで、農民を守れ、自給率向上を。
- ・農業をやめた(働き手がいらない。若者がでていった)

7 商店

- ・大きな所ばかりに集中して地元が活気づかないようです。老人が行きやすく安かったら良い。
- ・シャッター街を広告に作って明るくしてほしい。
- ・商工会議所がどのような商店街を目指しているのか不透明、お互い勉強して参りたい。様々なセミナー開催を望みます。

8.給与所得者

- ・サービス残業が多く、休みが取りにくい。仕事を辞めたい
- ・全体的に給与を上げて欲しい
- ・環境は良くない、しかし次の職も良いところが無くやめられない
- ・人手不足で休みが少ない
- ・働きやすい時間や環境、賃上げ
- ・何事も人材不足。
- ・「年金生活者声」も聞いてほしいです。
- ・最低賃金は上がっているが、正社員給与は変化なし。正社員にもっと反映されてもいいと思う。
- ・今年転職をして正社員となり給料は上がった。業績も良いようだ。北上にある飲料メーカー。本社は大阪。
- ・環境はあまり良くない。しかし次の職もなかなか良いところがなく辞めることができない。子どもがまだ小さいので(小学生)病気になると市内に身内がいらないので長期で休まないといけないので有給がすぐなくなる。近くに実家がない家庭への特例措置をお願いしたい
- ・国民の所得の格差の是正、社会正義の実現が市政、国政において重要
- ・なかなかデジタル技術を導入しない会社で苛立ちを感じる
- ・給料も安くモチベーションが上がらない。なのに老人たちは多いからやることも多い。上司はすぐに休むのに、その皺寄せで仕事がふえる。
- ・税金が上がったことに対して企業側の賃上げがなく生活が厳しくなる一方だ。
- ・国として経済対策を講じてほしい。
- ・サービス勤務になる時間が多い。上司に言っても自分たちで工夫してすると言われる。

9.非正規雇用

イ、今のままで良い5 口、正規職員が良い9 ハ、その他職場環境

- ・ 正規と同じ仕事内容なのに短時間勤務というだけで、ボーナスなし、退職金なしでやる気が失せる

- ・ 130万円の壁がなくなり社会保険料が引かれるようになりますが、働ける時間と時給は大きく変わることがないので手取りがだいぶ減ってしまい苦しいです。

- ・ 飲食店勤務のため、ランチタイムとディナータイムと間の2時間ほど休みになりますが、その間電話や来店客(予約等)くれば対応しても給料(時給)は発生しないので、拘束時間が長い割に給料が安い。そのためにすぐ人が辞める。→人材不足→残っているスタッフで何とか営業 疲弊してさらに辞める→さらに人手不足→臨時で休業日づくり休みが増える 給料が減る→苦しい

- ・ 定年後なので…。でも人材不足。

- ・ 人手不足と願いでいるなら正規職員になり、その会社で長くいたほうがいいと思う。

- ・ 10月からの法改正で、今までの働き方より時間が削られて働きたいのに働けなくなつた、収入が減った。苦しい

- ・ 年齢的には(68歳)今のままでと思っているが、派遣ゆえ時間給が上がらない。

10.福祉、介護職

イ、働きやすい2 口、働きにくい2 ハ、辞めたい2

- ・ 気配りのできる人材が欲しい
- ・ 職員間の連携が良く和気あいあいの感じ
- ・ 基本賃金を上げてほしい
- ・ 処遇改善が直接くるかたちにして欲しい。
- ・ 休みもなく賃金が安い。体力がない。
- ・ 給与を上げてほしい。
- ・ デジタル技術を導入した勤務時間の軽減

11.保育所・学童

イ、働きやすい0 口、働きにくい3 ハ、辞めたい0

- ・ 保育士の給与が安すぎる、私立も公立並みに給与、有休、福利厚生を手厚く
- ・ 基本賃金を上げてほしい
- ・ 処遇改善が直接くるかたちにして欲しい。
- ・ 休みもなく賃金が安い。体力がない。
- ・ 給与を上げてほしい。
- ・ 職員間の連携が良く和気あいあいな環境
- ・ 気配りのできる人材が欲しい
- ・ デジタル技術を導入した勤務時間の軽減
- ・ 社員が足りない。私立も公立並みの給与・有給休暇・福利厚生が手厚くなってほしい。
- ・ 扶養控除の関係もあり先生の働く時間が短い人もいるため人手が足りないことがある。子どものアレルギー対応が大変。給与が低すぎる。仕事量に対しても。
- ・ 人手が足りず給与も低い

12.小中学生

- ・ 冬季の除雪が遅い、なってない
- ・ バリアフリーのトイレの設置

- ・統合によって地域に沿った教育がない
- ・いじめがあった時相談窓口が子どもたちに周知されているか
- ・もう少し給食が美味しくなれば良い、残食が出て勿体ない。お互い良いメニューを考えて欲しい
- ・東陵中は12月～3月のみスクールバスがある、年間通して走らせて欲しい
- ・冬道の除雪の遅い。

13.その他

- ・期日前投票所が少ない、車で回って期日前投票を支援している地域がある
- ・今は政治家がいなくなり、ほぼ全員政治屋ですね。自民党は大嫌い、今の野党は自民党潰せるのに政権取れないのが情けない
- ・年金者の項目がなぜないの
- ・20～30代前半くらいの人達は、そんなに不自由もく色々な助成や無償化などあるのにまだ必要でしょうか？ふるさと納税も期待できないので、そんなことにお金を使うより、地域活性化にお金を使って欲しい